

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫ができるよう、資料や本文を工夫しています。教科書の巻頭8では、「現代社会の見方・考え方」とは何か、具体的な事例を示しながら端的にわかりやすく説明しています。

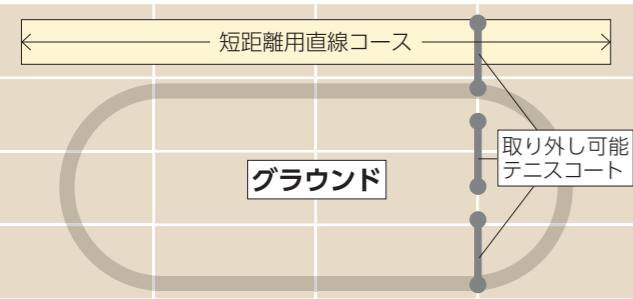
現代社会の見方・考え方

公民的分野では、現代社会の見方・考え方として、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義、分業と交換、希少性、協調、持続可能性などを働かせながら学びを深めていきます。ここでは特に、対立と合意、効率と公正について、具体的に見ていきましょう。

● 対立と合意、効率と公正 ●

部活動のグラウンド割りをどう考える？

ある中学校では、グラウンドを使う部活動の間で、使用する面積や使い方について意見が分かれていました。どのように解決すればよいでしょうか。



どの部活も平等に、均等な広さでグラウンドを使うのがいいんじゃないかな。

部活動の実績を重視して、グラウンド割りを考えてもいいんじゃない。

部員の数で考えるのがいいと思う。人数が多ければ、それだけ広い面積が必要になるよ。

むだなく使えるように、曜日ごとにルールを決めてはどうだろう。でもみんなが納得できるか不安。

対立 (p.17)

考え方や利害の違いから起こるさまざまな問題

合意 (p.17)

互いが受け入れられる解決を見いだすこと

↑

効率 (p.18)

- 問題の解決に効果があるか
- 時間や費用をむだにしているか

公正 (p.18)

- みんなが決定に参加する機会があったか
- 他人の権利や利益を侵害していないか
- 立場が変わっても、その決定を受け入れられるか

対立と合意、効率と公正の見方・考え方を、このあと学習するさまざまな場面で働かせていきましょう。

部活名	部員数	実績
サッカー部	男子 22 名	県大会出場、県大会 1 回戦敗退
テニス部	男子 15 名 女子 20 名	男女ともに県大会出場 女子関東大会出場
野球部	男子 55 名	市大会敗退、県大会出場ならず
陸上部	男子 22 名 女子 10 名	男子駅伝県大会出場 女子走り高跳び全国大会出場

↑巻頭8

ポイント

巻頭8「現代社会の見方・考え方」では、「対立と合意」「効率と公正」をもとに、「見方・考え方」を働かせる一例(部活動のグラウンド割り)を示しています。

対立から合意へ

社会的存在としての私たちは、直接的あるいは間接的に、職業や生活スタイル、年齢などが異なる多様な人々と関わり合いながら、共に暮らしています。人はそれぞれの考え方や利害をもっているため、意見の違いから人々の間に問題や争いといった**対立**が起きてしまうことがあります。

しかし、問題を残して対立したままでは、私たちの社会はうまくいなくなってしまいます。左ページの地域の人々も、よりよい生活を送れるようにするためには、互いの主張の趣旨をよく理解したうえで折り合いをつけなければなりません。私たちは、話し合いや交渉などを通じて決定を行い、**合意**をつくり出すことで問題を解決し、社会を動かしていく必要があります。

ポイント

「現代社会の見方・考え方」について、中学生の目線に立ったかみ砕いた本文で、わかりやすく解説しています。

効率とは

合意とは、人間社会で起こる対立を解消し、人々が共に生きることができるようよりよい社会をつくるための取り決めです。よりよい合意をつくるためには、**効率**や**公正**といった見方・考え方を踏まえる必要があります。

公正とは

よりよい合意をつくるためには、公正の考え方も欠かせません。公正とは、互いの意見を尊重し、合意によって得られる結論が一人ひとりに最大限配慮したものになっているかどうかを大切に考える考え方です。みんなが決定に参加したかといった**手続きの公正さ**、ほかの人の権利や利益を不当に侵害していないか、立場が変わっても受け入れられるかといった**機会の公正さ**や**結果の公正さ**などに配慮することも大切です。

↑p.17-19

ポイント

見方・考え方アイコン

NEW

「学習を振り返ろう」ページや「アクティブ公民」ページ、本文ページの資料解説やコラムに設置しています。「見方・考え方」を働かせる場面やその方法を示しています。

見方・考え方

民主主義における多数決のあり方について考えてみよう。

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫

地図帳やさまざまな資料を活用しながら、学習を深めることができるよう、「技能をみかく」や「地図帳活用」を設置しています。

ポイント

技能をみかく

公民的分野で使うロールプレイングやディベート・ディスカッションなどの技術を着実に習得できるよう、「技能をみかく」を全6テーマ設置しています。

↓p.167

技能をみかく 6 ディスカッションをやってみよう

ディスカッション(議論)とは、あるテーマに対してさまざまな立場から、自由に意見を出し合う方法です。ディスカッションによって、一つの物事に対し多くの考え方があることを知ることができます。下のツールミンモデルで自分の考えを整理しながら、赤字バス路線に税金を使うべきか、ディスカッションをしてみよう。

事実・データ → 主張

理由づけ

●ディスカッション(議論)の注意点

- 必ず根拠に基づいた主張をする。不正確な情報を根拠として提示しない。
- 相手の発言を途中でさえぎったり、むやみに否定したりしない。
- 自分の主張を批判されたからといって、相手をけなさない。

思考ツール 巻頭9

ポイント

地図帳活用アイコン 地図帳活用 **NEW**

日々の学習で地図帳をより活用できるよう、「**地図帳活用**」アイコンを**33か所**設置し、活用を促しています。地図帳との連携を図ることで、学習をより深められるようにしています。

「地域機構」の解説に関連付けて、EU加盟国の変化を地図帳で確認できます。

地図帳には公民での地図活用を促すためのアイコンが付いています(20か所)。

「技能をみかく」掲載ページ一覧(全6テーマ)

内容	ページ	内容	ページ
ロールプレイング(役割演技)をやってみよう	p.23	裁判傍聴をしてみよう	p.99
ディベートで議論を深めよう	p.65	カードを使って分析しよう	p.109
引用で主張に説得力をもたせよう	p.85	ディスカッションをやってみよう	p.167

ポイント

18歳への準備 **NEW**

成人としての責任が生じる18歳に向けて身に付けたい「メディアリテラシー」「契約」「ライフプランや金利」などの実践的な知識や技能を学習内容と併せて習得できます。

↓p.128-129

18歳への準備 契約について考えよう

1) 私たちの生活は契約で成り立っている

2) 契約はいつから成立する?

3) 契約には実行する義務がある

TRV1

TRV2

TRV3

「18歳への準備」掲載ページ一覧(全3テーマ)

タイトル	ページ
メディアリテラシーを身につけよう	p.84-85
契約について考えよう	p.128-129
ライフプランから金融を考えよう	p.154-155

解説② ちいききこう **地域機構** 小 地歴 地図帳活用

近隣国やつながりの深い国どうしが政治や経済の協力を進める機構のことをいいます。ヨーロッパ連合(EU)は1967年に成立したヨーロッパ共同体(EC)を経て、93年に発足しました。多くの国でそれまで使われていた自国の通貨に代わって共通通貨ユーロが使われています。北米には、2020年に発効した米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)、アフリカには2002年発足のアフリカ連合(AU)、南米には1995年に発足の南米南部共同市場(MERCOSUR)があります。

↑p.203



3 EU加盟国の変遷

1 : 50,000,000 500km

EUの旗

EU加盟国からの加盟年

- 1972年加盟
- 1981年加盟
- 1986年加盟
- 1990年加盟
- 1995年加盟(東欧ドイツ統一による拡大)
- 1999年EUと統合
- 2004年加盟
- 2007年加盟
- 2013年加盟
- 2020年加盟

EU加盟国

EU加盟国のユーロ導入

↑地図帳p.53

「地図帳活用」掲載ページ一覧(全33か所)

ページ	タイトル
p.4	1 多摩川の清掃活動
p.8	1 7か国語の防災パンフレット
p.13	2 ハラルフードを扱うコンビニエンスストア
p.41	4 普天間飛行場
p.43	3 民主主義指数
p.73	1 ジェンダーギャップ指数
p.82	2 参議院の定数別選挙区
p.92	1 省庁が集まる霞が関とその周辺
p.113	2 清水区の中心部
p.114	1 18歳・19歳の都道府県別投票率
p.133	4 周南コンビナート
p.148	2 石貨
p.180	1 チリの銅鉱山で稼働する無人の超大型ダンプトラック
p.184	解説① 領土・領海・領空
p.186	1 尖閣諸島の位置
p.186	3 南シナ海のサンゴ礁につくられた建造物
p.187	4 日本の排他的経済水域

ページ	タイトル
p.187	6 竹島の位置
p.191	4 パレスチナとイスラエル
p.193	4 世界の紛争地域
p.196	1 世界各地で起こるさまざまな異常気象
p.198	1 各地の再生可能エネルギーによる発電
p.198	3 世界のエネルギー消費量の推移
p.199	5 天然ガスの鉱場
p.203	3 1人あたりの国民総所得(GNI)と地域機構
p.203	解説② 地域機構
p.204	3 世界の地域別人口の推移と予測
p.205	5 栄養不足人口の割合
p.206	1 日本の主なP.KO
p.206	3 米づくりの指導をする技術協力プロジェクトの専門家
p.214	1 大阪万博
p.214	2 愛・地球博
p.214	4 大阪・関西万博の開催予定地

その他の特色

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫